

< 運営推進会議における評価_様式例 > ※公表用

【事業所概要】

法人名	医療法人社団 洛和会	事業所名	看護小規模多機能サービス壬生
所在地	(〒604-8852) 京都市中京区壬生東大竹町4-4番地1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

介護職の自宅訪問の他、訪問看護師からの情報提供もあり在宅生活の状況をくみ取りやすい。通所、宿泊、訪問介護、訪問看護のスケジュール変更も利用者の状況に合わせて迅速に対応することが出来る。
多職種との連携で在宅での看取り介護にも対応している。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2020 年 3 月 20 日	従業者等自己評価 実施人数	(11) 人	※管理者を含む
----------------	--------------------	------------------	----------	---------

【運営推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2020 年 4 月 20 日	出席人数 (合計)	(6) 人	※自事業所職員を含む
出席者 (内訳)	<input type="checkbox"/> 自事業所職員 (4) 人 <input type="checkbox"/> 市町村職員 () 人 <input type="checkbox"/> 地域包括支援センター職員 (1) 人 <input type="checkbox"/> 地域住民の代表者 (1) 人 <input type="checkbox"/> 利用者 () 人 <input type="checkbox"/> 利用者の家族 () 人 <input type="checkbox"/> 知見を有する者 () 人 <input type="checkbox"/> その他 (2) 人			

■ 前回の改善計画の進捗評価

項目	前回の改善計画	実施した具体的な取組	進捗評価	
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	職員個々の研修計画に基づき内部・外部研修の参加。参加機会を増やす。	個別目標から研修計画の作成	コロナウイルスのため、外部研修は中止で参加できず。内部研修では動画での参加で希望の研修に参加できた。	
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)	「気づきカード」でなく「ミーティング用紙」に変更。 情報収集・業務改善の検証。	事前ミーティング用紙を作成し職員の思いをミーティングで話合えるようにした。	普段言えないことも、用紙に記入されている。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)	新規利用の受け入れに一般職員も参加し本人、家族の状況把握をする。	契約前に利用者の情報を共有、相談し意見を集めた。	ご利用者個々の主治医や医療機関との連携を図り、支援に取り組んでいる。 包括的なサポートは、全ての方では無かった。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画(評価項目 32～41)	地域住民の参加ができる。施設祭りの参加。地域の行事、消防訓練・地藏盆に利用者のみでなく職員も参加する。地域交流	コロナウイルスのため地域交流や行事は中止。 保育園の子供たちから、子供たちが作成した作品をいただいた。	コロナウイルスのためほとんど中止。ガーデニングをして花壇を華やかにし近所の方にもみてもらえるようにしている。
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	本人・家族の要望を傾聴する。利用者に対する職員の思い聞き出し援助に活用。 職員の看取りに対する不安を取り除き看取り教育の向上を行う。	送迎時、モニタリング時にケアマネだけでなく一般職員も送迎時等で日々の様子を家族様と共有した。	在宅生活の維持が継続できている。 ご家族ご本人様が安心できる支援に努め、看取りの実績もある。	

※「前回の改善計画」および「実施した具体的な取組」は事業所が記入し、「進捗評価」は自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します

■ 今回の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目 1～10)	コロナウイルスで動画研修となったが、誰もが閲覧できるため参加がしやすかった。例年、参加できる職員が少なかったが動画のため参加する職員が増えた。	内部研修の参加、外部研修もZoom研修にて参加できるようにする。
II. サービス提供等の評価	<p>1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目 11～27)</p> <p>2. 多機関・多職種との連携 (評価項目 28～31)</p> <p>3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目 32～41)</p>	<p>事前ミーティング用紙の継続。 出来るだけ職員もミーティングに参加できるよう勤務を配慮する。</p> <p>利用者担当をつけることで担当利用者の把握、モニタリング、カンファレンスを行い多職種で支援する。</p> <p>ガーデニングは継続。 近所の子供たちや地域の方、ご利用者に笑顔になってもらう。</p>
III. 結果評価 (評価項目 42～44)	ミーティングでカンファレンスを繰り返し行い、看護師・主治医との連携で1人看取ることが出来た。	看取り介護の継続。看取りについての研修にも参加する。

※自己評価・運営推進会議における評価の総括を記載します